10 試運転

⚠ 注 意

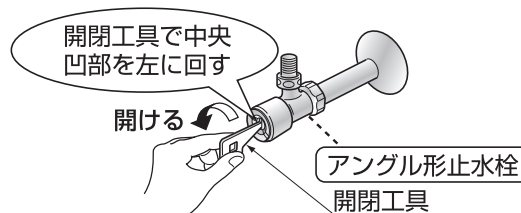
タンク内に水がないときは絶対に「沸上げ運転（電源）」スイッチを入れない（空焚きとなり、故障や事故の原因になります。）

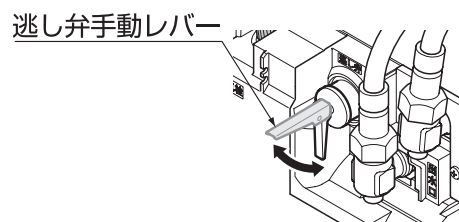
注 意

機器の減圧弁・逃し弁にゴミが付着すると、膨張水排出口から微量の水が流れ続ける場合があります。
そのような場合は以下の操作を行ってください。
1）逃し弁手動レバーを立てて、膨張水排出口から1分間ほど水を排出させ続けてください。
2）逃し弁手動レバーを元に戻して、蛇口を閉めたときに、膨張水排出口から水が流れ続けないことを確認してください。
（注）流れ続ける場合は上記操作を再度行ってください。

1）電気温水器への給水

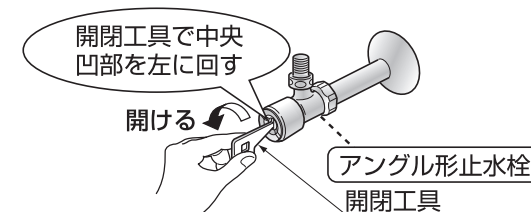
《自動水栓（単水栓）の場合》

①止水栓を開ける。

②逃し弁手動レバーを引き上げる。

③排水ホッパーから水が出始めたら逃し弁手動レバーを元に戻す。

④自動水栓のスパウトのセンサーを作動させ水の出方が安定してくると、タンクは満水です。
（タンクが満水になるまでは空気を巻き込みながら断続的に水が出ます。）

⑤配管接続部からの水漏れがないことを確認する。

《シングルレバー混合栓および2ハンドル混合栓の場合》

①止水栓を開ける。

②混合栓の水側を閉め、湯側を全開にする。
※混合栓から安定して水が出始めるとタンクは満水です。

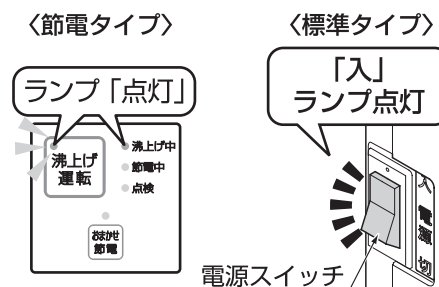
③混合栓を閉める。

④配管接続部からの水漏れがないことを確認する。

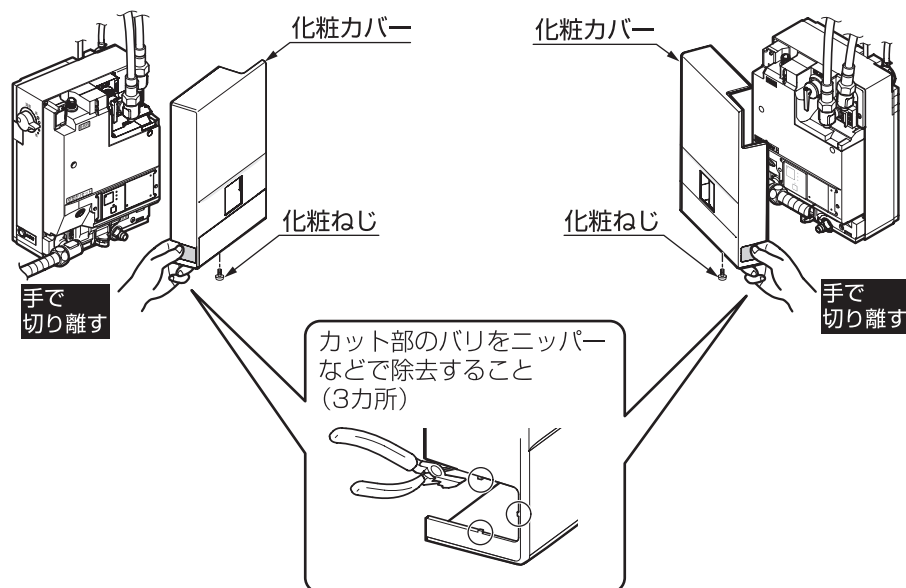
2）電気温水器への通電 空焚き禁止

①タンクが満水になったことを確認し、電源プラグをコンセントに差し込む。

②「沸上げ運転（電源）」スイッチを「入」にし、ランプが点灯することを確認する。

注 意

<節電タイプの場合>
電源投入時は動作準備に多少時間がかかります。電源プラグを差し込んだあと、約10秒待って、「沸上げ運転」スイッチを押してください。

③沸き上がると、沸き上げ中ランプ（節電タイプ）および電源スイッチ（標準タイプ）のランプが消灯します。

④化粧カバーの連結管取り出し部分を切り離し、化粧カバーを取り付ける。

注意	化粧カバーに傷を付けないよう注意してカットしてください。
	カット部のバリでけがをしないよう注意してください。

＜沸き上がり時間の目安＞

給　水　温　度	5℃（冬）	15℃（春・秋）	25℃（夏）
沸き上がり時間の目安	約21分	約18分	約15分

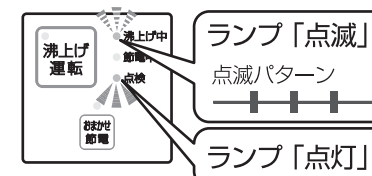
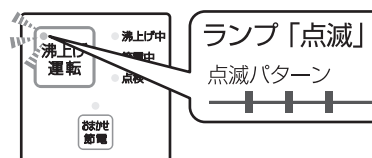
注意	止水栓、給水口のフィルターにゴミが詰まると故障の原因になります。 試運転後、フィルターの掃除を行ってください。 （掃除の方法は、取扱説明書を参照してください。）
	減圧弁、逃し弁は消耗品です。 劣化により機能の低下や水漏れする可能性があります。 必ず定期的に交換するよう、お客様に説明してください。

空焚きリセット方法〈節電タイプ〉

※万一空焚きした場合は、操作部のランプが点滅または点灯します。
　その場合は、以下の手順で空焚きをリセットしてください。

操作部のランプ表示

処置

（左の場合）

①止水栓が開いていることを確認する。

②電源プラグを抜く。

③タンクに水を入れて、満水になったことを確認する。
（P.9「試運転」電気温水器への給水を参照）

④電源プラグをコンセントに差し込む。

⑤約10秒待ち、「沸上げ運転」スイッチを押す。
※沸上げ運転が開始されます。

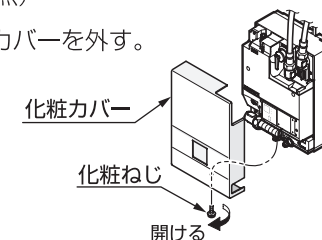
沸上げ運転
スイッチ

（右の場合）

①止水栓が開いていることを確認する。

②電源プラグを抜く。

③タンクに水を入れて、満水になったことを確認する。
（P.9「試運転」電気温水器への給水を参照）

④化粧カバーを外す。

⑤空焚きリセットボタンを押す。

空焚きリセット
ボタン

⑥化粧カバーを取り付ける。

⑦電源プラグをコンセントに差し込む。

⑧約10秒待ち、「沸上げ運転」スイッチを押す。
※沸上げ運転が開始されます。

沸上げ運転
スイッチ

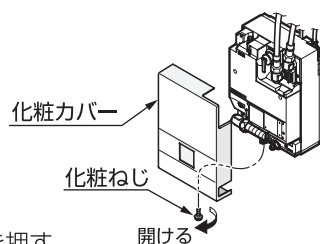
10 試運転（つづき）

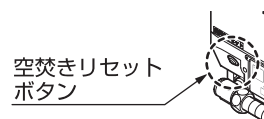
空焚きリセット方法〈標準タイプ〉

※万一空焚きした場合は、電源スイッチを「入」にしてもランプが点灯しません。
その場合は、以下の手順で空焚きをリセットしてください。

①止水栓が開いていることを確認する。

②電源スイッチを「切」にする。

③タンクに水を入れて、満水になったことを確認する。
（P.9「試運転」電気温水器への給水を参照）

④化粧カバーを外す。

⑤空焚きリセットボタンを押す。

⑥化粧カバーを取り付ける。

⑦電源スイッチを「入」にする。
※沸上げ運転が開始されます。

水漏れリセット方法〈節電タイプのみ〉

※万一水受けトレイに水が入ると、「沸上げ中」「点検」のランプが同時に点滅し、ブザーが鳴ります。そのときは、以下の手順で水漏れ検知機能をリセットしてください。

①電源プラグを抜き、ブザーが鳴り止むまでお待ちください。（10秒程度）

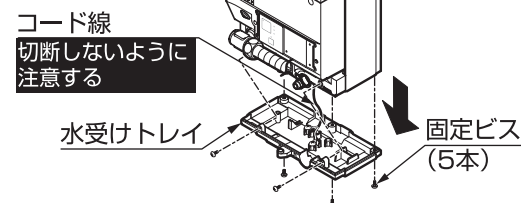
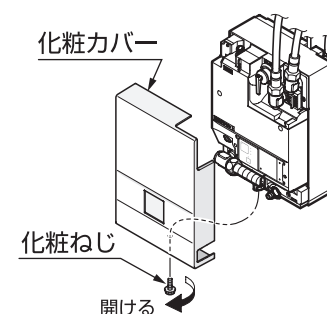
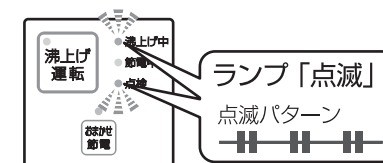
②水漏れの原因を調べて対応してください。

③化粧カバーを外し、水受けトレイを下側に外す。

④トレイ内にたまった水を捨てたあと、乾いた布などでトレイをふいてください。

⑤機台内・機台外からの水漏れがないことを確認したあと、水受けトレイを元の位置に戻し、固定ビスを締める。

⑥化粧カバーを取り付ける。

コード線
切断しないように注意する
水受けトレイ
固定ビス
（5本）

11 水抜き方法

試運転後、引き渡しまで長期間使用しない場合は、次の要領で機器内の水を抜いてください。

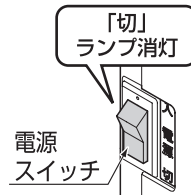
⚠ 注意

凍結のおそれのある場合は、電源プラグを抜いてタンク内の湯を抜く
(凍結破損し、水漏れするおそれがあります。)

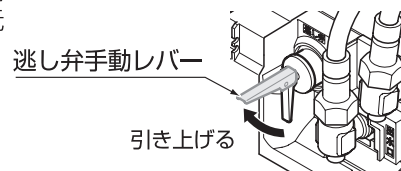
《水抜き手順》

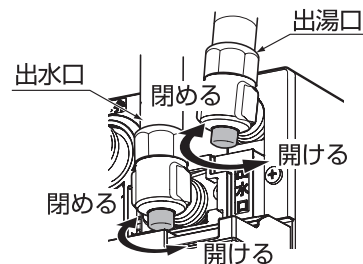
①「沸上げ運転（電源）」スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜く。

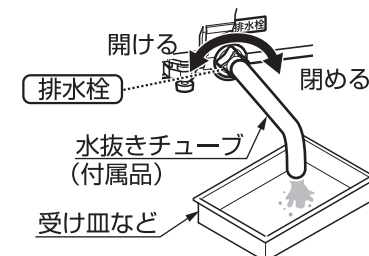
〈節電タイプ〉

〈標準タイプ〉

②混合栓の水側および湯側を開け、湯が水になるまで出したら混合栓を閉める。
（注）タンク内に湯が残っているとやけどをするおそれがあります。

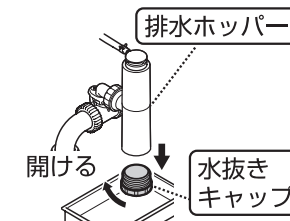
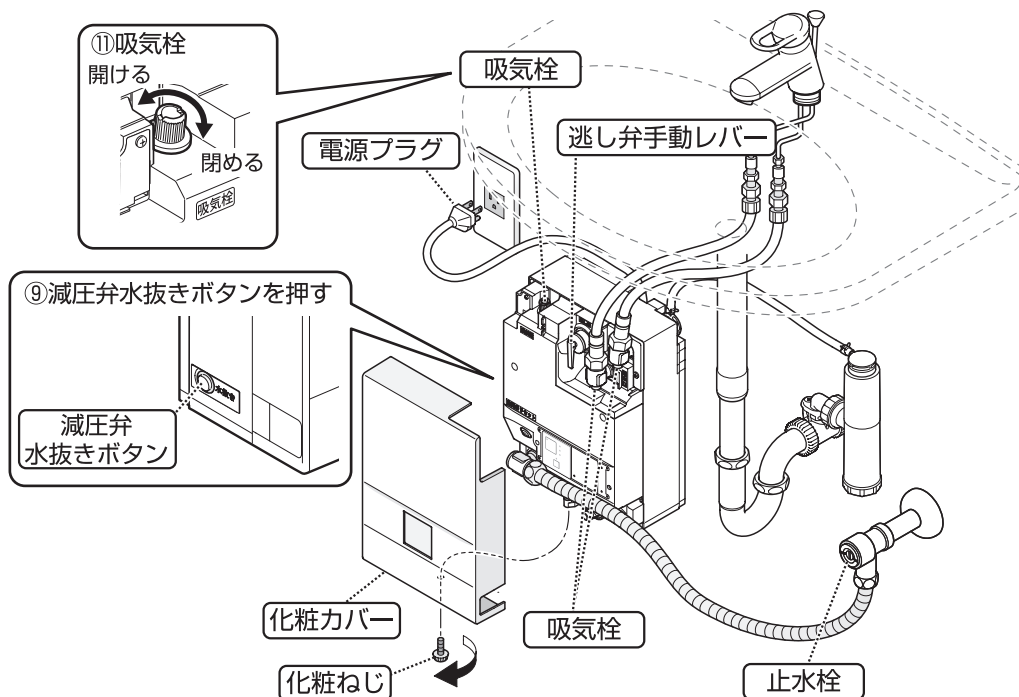
③化粧ねじを外し、化粧カバーを外す。

④逃がし弁手動レバーを約20秒程度引き上げ、排水ホッパーに水を流したあと、レバーを元に戻す。

⑤止水栓を閉める。

⑥出湯口、出水口の吸気栓を取り外し、連結管内の水を抜く。

注 意	水を抜く際は、必ず受け皿などで受けてください。

⑦電気温水器の排水栓に付属の水抜きチューブを差し込み、左いっぱいまで回す。

⑧吸気栓を取り外し、タンク内の水を抜く。

⑨減圧弁水抜きボタンを押し、配管および減圧弁内の水を排水栓より抜く。

⑩排水ホッパーの水抜きキャップを外し、排水ホッパー内の水を抜く。

⑪水抜きが完了したら吸気栓・排水栓および排水ホッパーの水抜きキャップを閉める。

注 意	「沸上げ運転（電源）」スイッチが「入」の状態でも配管が凍結する場合は、必ず給水、出水、出湯側の各連結管と排水管に保温材または、ヒーターを巻いてください。